

# 株式会社ジェイコム千葉 市川・浦安局 2022年度 放送番組審議会 議事録

2022年度のジェイコム千葉 市川・浦安局放送番組審議会は、2023年3月28日(火)に市川・浦安局会議室にて開催された。

## <放送番組審議会委員>

### ■ご出席

柏木 将宏 様  
工藤 渡 様  
日暮 真司 様  
増田 定男 様  
松村 泰平 様  
鞠子 一之 様

(50音順)

## <放送番組審議会の会長の選出> (事業者事務局)

会長に増田委員を選出した。

## <J:COM チャンネルご報告> (事業者担当)

事業者側から今年度のJ:COM チャンネルでの取り組みについて報告を行った。

## <質疑応答・意見交換> (増田会長による進行)

### 委員

・昔のチャンネル選びは、地上波くらいしかなかったのが簡単だったが、今はBSやCS YouTubeと数えきれない番組やコンテンツがあり、その中からコミュニティチャンネルを選んでもらうのはとても大変だがどのような苦労があるか？

### 事業者

・制作スタッフは一生懸命制作しているが、コミュニティチャンネルを知ってもらうプロモーションやその努力がまだ足りていない。  
・コミュニティチャンネルは単局の時代から比べると放送エリアが広域化しているなかで、地元関係者からは広域情報は興味がないとの意見もあり、少しずつ狭域化を進めるなど、皆さまからご意見をいただきながら改善していきたい。

#### 委員

- ・「ど・ろーかる」アプリは、意外と地方の地域情報をチェックできるので、地方出身者に有効なのでは。「ふるさとがどうなっているか」をライブカメラなどで確かめることもできるのでよいサービスだと思う。TV番組だと放送時刻が決まっていて追うことができない場合があるが、アプリならばいつでも情報を追うことができる。
- ・市川の情報もLIVEニュースでは木曜しか放送していないので見逃してしまうと視聴できないが、アプリであれば視聴できる。

#### 委員

- ・市内のテニス大会の様子を放送してもらった際、関東圏からの参加者はアプリをダウンロードしていた。そうした方々が地方の情報やライブカメラを見ることがあるらしい。

#### 委員

- ・コロナ禍でイベントが相次いで中止となり、取材でご苦労や努力があったのでは？

#### 事業者

- ・感染防止の観点から取材やゲストをお呼びする放送スタイルができず、また地域のイベントも中止となっていた為、オンラインで取材する等の工夫をして番組クオリティを維持していたが、取材先との関係が希薄になってしまった懸念は感じているので、今度イベントなどの取材を通じて地域の皆様との関係を再構築していきたい。

#### 委員

- ・浦安市には行政番組があるが、それに比べて市川市の情報が薄いのでは？
- ・市川市では市長が変わり、早い段階から市長インタビューを申し出、撮影協力いただき、感謝している。市川市内もコロナウィルス感染拡大下ではイベントが少なく、情報が薄かったのではと考える。これからはイベントリリースをどんどん伝え、取材いただけるように働きかけをしていきたい。
- ・市長により取り組み方が大分変わると思うが、行政として知らせることはしっかり伝えて欲しい。例えば、市の部署の分割、統合など、そういう情報は前広に市民に伝えてほしい。

#### 事業者

- ・以前は市の組織に関わる情報等、局としても独自に入手していたが、局のエリアが拡大するにつれて局と自治体との接触が手薄になってしまっている部分があるので、改めてしっかりと情報を入手したい。

#### 委員

- ・ふるさとづくりに関わる行事がコロナ禍でも復活してきていると思う。盆踊りや花火大会等、こうした行事の情報も増えてくると思うのでJ:COMに受け取ってほしい。

#### 事業者

- ・既に依頼が増えている実感はある。できるだけ対応していきたい。

#### 委員:

- ・行事の取材依頼や問い合わせは行政と民間からの両方からあるのか？

#### 事業者

- ・自治体はプレスリリースなどで発信しており、民間は局へ直接依頼や、カスタマーセンターなど経由して情報があがってくる。情報があれば局へ直接ご連絡いただきたい。

#### 委員

- ・自治体としても各部署からの情報をしっかりと吸い上げてプレスリリースできるよう取り組みたい。

#### 委員

- ・次年度(4月)以降で番組が終了する予定のものはあるか？

#### 事業者

- ・4月以降に関しては現状終了予定の番組はないが、今後の検討。ニュース番組の放送エリアについては情報密度を高めるべく、来年度に狭域化も含め検討の余地あり。(2024年度以降の検討事項として)

#### 委員

- ・昔放送していた番組はよかったが終わってしまっていて残念。やはりお馴染みになるまで継続する必要があるのでは？

#### 事業者

- ・J:COMの夏の高校野球生中継も毎年放送しているが知られていない。高校野球は様々な権利が絡み、放送することは大変だが、自社の考えや意思が入った取組みなので、来年度は制作と連動して成果に繋げたい。

#### 委員

- ・当事者は見ているから知っているが、他には知られていない。しかし、当事者が見ているだけでも価値があると思う。

#### 委員

- ・浦安市広報番組について、卒園や入学式などはJ:COMで放送されてからYouTubeに公開されている。子供が出演するものは再生回数が多い。地道だが、こうした放送を継続することで知名度があがるのでは？また、取材を受ける側もカメラを持ってこられると喜ぶ。
- ・高齢者の方は地元のイベントなどを放送することが分かればチャンネルを合わせてくれる。視聴率が上がるキッカケにもなる。

委員

- ・「わくわく一年生」は民放ではありえない内容だが、ずっと放送しているからこそ市民に受け入れられている。この番組は放送終了してしまったのか？

事業者

- ・コロナウィルス感染や個人情報の絡みで終了している。
- ・特に個人情報については、撮影時にNGの子供がいることで、映りこまないよう配慮するが、撮影が難しい状況で学校側、保護者側の理解が必要となる。

委員

- ・厳しい状況だと思うがそのような番組制作・放送を挑戦してほしい。

委員

- ・番組ではいろいろなMCが出演しているが、最初は売れていなくても、起用し続けるうちに全国的に知名度が上がるように育ててほしい。

事業者

- ・当社の関西エリアでは、売れない時から起用していた漫才師がM1の決勝進出し、売れっ子となる事例もあり、私どももそのようなことを目指している。

委員

- ・吉田照美さんが出演している番組はどうなっているのか？

事業者

- ・現在は終了しており、代わりに「ジモトに乾杯！小堺クン」という番組の放送を開始している。
- ・小堺さんの父が市川真間で働いていたので、地元のゲストが出演されるととても話が弾むことが多い。浦安で活躍されている市民もゲストとして是非ともご推薦いただきたい。

委員：

- ・小堺さんは、番組で話を上手に回している印象。

委員

- ・千葉商科大学とJ:COMとの関係が弱くなっているが、学生が制作した動画を放送してほしい。

事業者

- ・コロナ感染拡大前にはそうしたお話をいただいていたが、止まってしまっているので、改めて相談させていただきたい。

委員

- ・学生のボランティアチームがあったら面白いのでは？そうしたメンバーが活動する様子取材しては？

#### 事業者

- ・学生と連携していくことも検討していきたい。

#### 委員

- ・大学コンソーシアム市川で地元企業を学ぶ機会があり、J:COMの地域活動を紹介したことがあるが、それらの取組みが確実に形になっている点を評価したい。オンライン診療などの事業は非常に重要と考える。

#### <閉会>（事業者事務局）

本日頂戴した番組に対する貴重なご意見・ご要望を今後番組制作に活かしていく所存です。